



阪神・淡路大震災から31年

南海トラフ巨大地震へ 地域の備えを進める セミナー・ワークショップ

2月11日(水・祝) 2026 参加無料

会場：人と防災未来センター 西館1F ガイダンスルーム2
(兵庫県神戸市中央区臨浜海岸通1-5-2)

災害が頻発化する中、地域防災を進める上で、住民・大学・企業・行政等が共同して取組むことは一層、大切になってきています。阪神・淡路大震災復興の象徴のまち「HAT神戸」では、10年前から「ALL HAT」と称する防災訓練イベントを継続し、多様な組織・団体が協同し地域全体の防災・減災の意識高揚に取り組んでいます。この取り組みをより活性化させ、広げるために、この度3つのプログラムを実施します。当事者・関係者間で意見を交わし、地域防災力の向上に必要な備え・対策を検討・共有します。ぜひご参加ください。

能登半島地震から南海トラフ巨大地震に備える災害ボランティア意見交換会

10:00-11:30 参加受付はオンライン*のみ

お話「能登半島地震被災地の今」

民間災害ボランティアセンター おらっちゃん七尾 代表 今井 健太郎*

報告

大学生 神戸大学ボランティアバスプロジェクト 甲南大学生
Kobe Med Connect (神戸大学医学部生)

高校生 滝川第二高等学校

あす・ユース震災語り部隊(中学生) カダンミツ オペラ・ディ・フィオーレ

パネル展示 神戸大学地域連携推進本部ボランティア支援部門 支援 神戸大学基金



地域の目線で考える防災と災害対応クロスロード* セミナー・ワークショップ

13:00-14:45 対面

被災時のさまざまなジレンマを共有し課題解決を参加者
同士で模索するカードゲームを通じて、私たちに実際に
訪れる試練を知り、備えにつなげます。

挨拶 和泉 比佐子 神戸大学地域連携推進本部副本部長

話題 城田 洋克 なぎさ防災福祉コミュニティ

提供 平野 浩二 脇の浜防災福祉コミュニティ

討論 馬場 美智子 兵庫県立大学減災復興政策研究科教授

クロスロード進行：神戸クロスロード研究会 西 修

報告・運営

- ・片岡 幸吉 防災士・聴覚障がい者の視点から
- ・神戸大学ボランティアバスプロジェクト
- ・Kobe Med Connect
- ・甲南大学生

*クロスロード(災害対応カードゲーム)

災害現場での直面する課題をカードゲームの形で考える阪神・淡路
大震災の経験から生まれた防災教育ツール

災害看護の視点で考えるMy個別避難計画*作成 セミナー・ワークショップ

15:00-16:30 対面

災害看護の視点から、自身の健康や生活状況、二次的・
間接的な影響も含めた「My個別避難計画」を作成する
ことで、災害時にも安心できる暮らしへつなげます。

挨拶 藤岡 健 大学都市神戸産官学プラットフォーム事務局長

ミニ講義

神原 咲子 神戸市看護大学災害看護・国際看護学分野教授

ワークショップ進行：

水川真理子 神戸市看護大学いちかん看護開発センター准教授
井上理恵 神戸市看護大学ウィメンズヘルス看護学分野准教授
丸尾智実 神戸市看護大学在宅看護学分野准教授
山地久美子 神戸大学地域連携推進本部特命准教授



*個別避難計画

災害時の安全な避難のために事前に避難の方法や対策を決めておく
ための計画

総括 16:30-17:00 3つのプログラム全体を通したまとめ

増田 匡 神戸市中央区長

平林 英二 人と防災未来センター企画ディレクター

神原 咲子 神戸市看護大学災害看護・国際看護学分野教授

山地久美子 神戸大学地域連携推進本部特命准教授

プログラム参加申込：二次元コード →

プログラム参加申込：Googleフォーム

<https://forms.gle/x1nLVmdMWTfYZaLg8>

対象：HAT神戸住民、市民、大学、企業

自治体関係者、どなた様も歓迎します。

各プログラム：30名 ※先着順

2月10日(火) 正午 までにお申込みください。



主催：一般社団法人大学都市神戸産官学プラットフォーム 共催：阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター

一般社団法人大学都市神戸産官学プラットフォーム採択プロジェクト「企業、行政、大学、住民が共につくる地域防災」

地域防災の未来セミナー：神戸大学、神戸市看護大学、兵庫県立大学、神戸学院大学、神戸松蔭大学、甲南大学、神戸常盤大学

双日株式会社、大和リース株式会社

(お問合せ) TEL：078-954-6921 Email：info@kobeplatform.or.jp

協力：なぎさふれあいのまちづくり協議会／脇の浜ふれあいのまちづくり協議会